

持続可能な水辺のにぎわい空間の創出に向けて 多摩川緑地バーベキュー広場にスマートコンポストを設置します ～食べ残しを堆肥化し、河川敷の花壇等に活用～

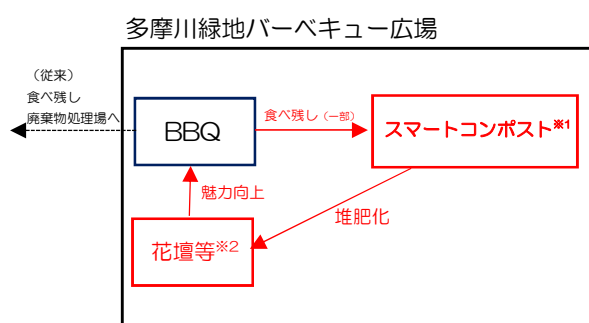
川崎市では、多摩川の魅力を活かす総合的な取組として、多様な主体と連携することにより、水辺のにぎわい創出に向けた取組、また、環境学習や体験活動等を通じ、様々な機会をとらえた多摩川の魅力発信の取組を推進しております。

こうした中、多摩川緑地バーベキュー広場の指定管理者である多摩川緑地バーベキュー広場共同事業体（代表企業：太平洋総業サービス株式会社）、株式会社 komham、サントリーホールディングス株式会社と連携し、ごみの高速分解が得意な微生物群「コムハム」を活用し、ソーラーの発電の電力による自動駆動で堆肥を作る「スマートコンポスト」（提供等：株式会社 komham）を当該広場に設置します。バーベキューで残った食べ残しの一部を堆肥化し、河川敷の花壇等（花の苗の提供：サントリーフラワーズ株式会社）に活用することで持続可能な水辺のにぎわい空間の創出に向けた取組を推進します。

実施予定期間 令和5年4月5日～令和5年夏頃（予定）

場所 多摩川緑地バーベキュー広場
（高津区瀬田先、二子橋付近）

取組イメージ



（スマートコンポストの設置イメージ）

※1 株式会社 komham・協力 ※2 サントリーホールディングス株式会社・協力

※なお、今回設置するスマートコンポストは、本取組に先行し、令和5年2月に幸区東小倉小学校に設置され、環境学習等に活用されていきました。その繋がりを活かして、今後は希望する親子に多摩川緑地バーベキュー広場での体験活動なども実施予定です。

※詳細については、次ページ以降を御確認ください。

komham

■ 「スマートコンポスト」とは

「スマートコンポスト」は、AC電源や排水処理を必要としないソーラー発電で自動駆動する独立型の生ごみ処理機です。生ごみの高速処理が得意な当社微生物群「コムハム」がより安定して生ごみを分解できる環境をスマートコンポスト内に整え、街中や施設内に設置しても景観を損なわないデザインで開発しました。また、管理者は、クラウドにアップロードされたデータから、生ごみ投入量、投入量から算出された想定温室効果ガス排出量、バッテリー残量など、利用情報を取得することができます。

【製品概要】

サイズ：1012.40 (W) x 1468.20 (H) x 1137.70 (D) mm

本体重量：約200kg

処理能力：最大10リットル/日

測定・取得できるデータ：生ごみ投入量/想定温室効果ガス排出量



■ 「スマートコンポスト」開発の経緯

これまで、生ごみの高速分解処理が得意な微生物群「コムハム」を安全で、機能性が高く、安定した技術として世の中へ提供できるよう「コムハム」の改良を中心に研究を続けてきまし

komham

た。研究や実証実験を進める中で、コンポストの設置環境や利用者の運用モチベーションに、生ごみの分解能力が依存することがわかっています。

当社は、だれもが意識せずとも環境に優しい暮らしができるインフラを作ることを目指しています。ミッションを達成させるためには、微生物群「コムハム」のブラッシュアップだけではなく、利用者の利便性の担保や、使い続けるために必要なデータの蓄積が重要だと捉えています。少ない検証の中ではありますが、現時点で導き出せる最適解が「スマートコンポスト」です。

「コムハム」が活動しやすい環境を「スマートコンポスト」の中に整え、その場で微生物が生ごみを食べて分解する、新しい生ごみ処理インフラを提案します。

■ komhamについて (<https://komham.jp/>)

「ごみ処理インフラを改革し、生物多様性保全へ貢献する」をミッションに掲げ、生ごみを高速分解/減容する能力を持つ微生物群「コムハム」の研究と、その研究技術を用いたバイオマスリサイクルシステムを、食品ロスなどの生ごみ処理に困っている事業者へ提供しています。また、生ごみ処理技術提供にとどまらず、弊社技術を応用したサービスや商品の開発を行い、だれもが意識せずとも環境にやさしい暮らしができるインフラ作りを目指しています。

会社名：株式会社komham

本店：札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目1-10-211号

支店：東京都渋谷区猿楽町17-10 代官山アートビレッジ3階B 代官山TOKO

代表者：代表取締役 西山すの

設立：2020年1月

水と生きる SUNTORY

サントリーグループは、水や農作物など自然の恵みに支えられた総合酒類食品企業として、「人と自然と響きあう」を使命に掲げ、人々の生活を潤い豊かにすることと自然環境を守り育てることが共存し人と自然が互いにより影響を与えあって永く持続していく社会をめざします。

■総合「体感」学習について

水・食べ物・お金の持続可能な循環について「知り」「触れて」「実現する」体験学習を株式会社 komham と連携し、東小倉小学校にて実施しております。

・プログラム骨子

Step1：「水育授業」を通じて“自然環境（水）の循環”を知る

Step2：堆肥づくり・野菜づくりを通じて“食べ物の循環”に触れる

Step3：作った食べ物を加工・販売し、お金を再投資することで“お金の循環”を実現する

Step1 水育授業の様子



Step2 堆肥づくり、野菜づくりの様子



Step3 体験学習（実施予定）

給食の残りをういてつくった堆肥をつかって学内で育てた野菜と花を、多摩川緑地バーベキュー広場で、実際に野菜の販売、花の植え付けを行い、費やした労力が人の手に渡り、お金を生む一連の流れを体験学習を通して経験していただきます

サントリーのキッチンカーにて販売体験（予定）

